

## 将来都市像について

- ・「将来都市像」とは、和光市が目指すまちづくりのあり方や地域の理想像を共有したり、市内外にアピールしたりするためのものであり、「まちづくりのコンセプト」でもある。
- ・総合振興計画の第1章の冒頭で示されるもの。

※和光100年まちづくり会議（第1回・第2回）を踏まえ、以下の叩き台を作成した。

みんなをつなぐ  
ワクワクふるさと  
和光

### ○「みんなを」について

第四次和光市総合振興計画における「みんなでつくる」の考え方を継承し、まちづくりの主体は市民をはじめとした「みんな」であるということを示す。そのうえで、市内だけに閉じるのではなく、他都市や世界とのつながりなどにも視野を広げるため、「みんなで」ではなく「みんなを」としている。

### ○「つなぐ」について

住み続けたいまちになっていくためには、人と人との繋がりが豊かであることが重要。また、人の繋がりだけではなく、道路網や交通体系などを含めたインフラ面での繋がりを作っていくことも、「つなぐ」という言葉に込めている。

### ○「ワクワク」について

活力があり、新しい楽しいことが次々と沸き立つ状態を目指す。また、和光市の大切な地域資源である湧き水をモチーフに「湧く」を掛けることで、自然を守っていく意思も示す。

### ○「ふるさと」について

和光市は首都圏にあり都市としての性質を持つと同時に、緑が豊かで潤いあるまちであり、そうした良さが持続していくことを「ふるさと」という言葉に込める。また、和光市に愛着・シビックプライドを持ち、いつまでも住み続けたいと思える市民を増やしていく。

（参考：検討にあたり候補としていた案）

- ・みんながつながる みんながほこれる 和光
- ・WAKO LIFE～暮らしのためのまちづくり～
- ・つくりつづけるまち 暮らしつづける和光
- ・湧く沸く和光（WAKU WAKU WAKO）

（現行）

みんなでつくる  
快適環境都市  
わこう

- ・第四次和光市総合振興計画（現行）の将来都市像。
- ・市民が市政の主役であり、市民みんなで、まちづくりを進めていく。
- ・都市と自然環境の調和を図った都市としていく。